

**山梨県都市計画審議会マスタープラン委員会
第5回資料**

**Ⅲ. 目指すべき県土構造の検討
広域圏域都市構造**

1. 広域圏域の概況

1. 広域圏域の概況

広域圏域の構成

・広域圏域の構成

・中西部・南部広域圏域は9市6町、富士・東部広域圏域は4市2町6村で構成。

【広域圏域の構成】



広域圏域	都市計画区域等	面積	範囲
中西部・南部広域圏域 ・構成市町村(9市6町) 甲府市、山梨市、 韮崎市、南アルプス市、北杜市、 甲斐市、笛吹市、 甲州市、中央市、 市川三郷町、富士川町、 早川町、 身延町、南部町、 昭和町	甲府都市計画区域	約12,518ha	甲府市、甲斐市及び中央市の一部、並びに昭和町の全域
	峡東都市計画区域	約10,764ha	山梨市及び甲州市の一部
	韮崎市都市計画区域	約 3,685ha	韮崎市及び甲斐市の一部
	南アルプス都市計画区域	約 7,421ha	南アルプス市の一部
	笛吹川都市計画区域	約11,174ha	甲府市、笛吹市及び中央市の一部
	市川三郷都市計画区域	約 2,234ha	市川三郷町及び富士川町の一部
	富士川都市計画区域	約 1,347ha	富士川町の一部
	身延都市計画区域	約 3,707ha	身延町の一部
	都市計画区域外	約262,282ha	甲府市、山梨市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、甲州市、中央市、市川三郷町、富士川町及び身延町の一部、並びに北杜市、早川町及び南部町の全域
富士・東部広域圏域 ・構成市町村(4市2町6村) 富士吉田市、都留市、 大月市、上野原市、 西桂町、富士河口湖町、 道志村、忍野村、 山中湖村、 鳴沢村、小菅村、 丹波山村	富士北麓都市計画区域	約20,758ha	富士吉田市、西桂町、山中湖村及び富士河口湖町の一部、並びに忍野村の全域
	都留都市計画区域	約 5,291ha	都留市の一部
	大月都市計画区域	約 5,110ha	大月市の一部
	上野原都市計画区域	約 2,375ha	上野原市の一部
	都市計画区域外	約97,400ha	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、西桂町、富士河口湖町、道志村、忍野村、山中湖村の一部、並びに道志村、鳴沢村、小菅村及び丹波山村の全域

広域圏域の課題

・広域圏域の課題

- ・これまでに整理した「山梨県の都市が抱える基本的課題」を踏まえつつ、「広域圏域における視点」での特徴的な課題を整理する。

【中西部・南部広域圏域】

(現行MP)

(改定案)

- ・合併により広域化した市町村の行政区域への対応(同一行政区域内の土地利用規制の不合理の解消)
- ・体系的な交通ネットワークの整備
- ・郊外への無秩序な宅地化進行の抑制
- ・都市計画区域外における土地利用コントロール
- ・大規模集客施設の適正立地

・広域圏域での秩序ある土地利用の誘導

⇒甲府盆地内の各市町村は都市として一体の生活圏を形成しており、広域的な視点で都市機能や居住機能の配置などを検討するとともに、同一行政区域内の土地利用規制の不合理を解消して、秩序ある土地利用を誘導していくことが必要。

・体系的な交通ネットワークの整備

⇒新山梨環状道路など広域的な交通網の整備が進められており、山梨県バス交通ネットワーク再生計画における交通結節点やネットワークとも整合を図りながら、今後とも拠点間や圏域内外の連携強化のための体系的な交通ネットワークの整備推進が必要。

・郊外への無秩序な宅地化の抑制

⇒甲府都市計画区域の市街化調整区域や隣接する非線引き都市計画区域の白地地域では依然として開発が進んでおり、こうした郊外への無秩序な宅地化の抑制が必要。

・都市計画区域外の土地利用コントロール

⇒北杜市や甲斐市北部での開発の進行、高規格道路整備による開発圧力なども想定され、土地利用の適切なコントロールが必要。

・リニア中央新幹線開業による交流・活動の拡大

⇒リニア中央新幹線開業に伴い、国内外の人々との活発な交流や活動の拡大が期待されており、駅周辺整備をはじめとし、開業効果を県内全域に波及させる取り組みが必要。

広域圏域の課題

・広域圏域の課題

【富士・東部広域圏域】

(現行MP)

- ・豊かな自然環境や歴史・文化資源との調和
- ・富士山世界文化遺産登録への取組
- ・国際的な観光地の魅力向上に資する交通網の整備
- ・大規模災害に備えた道路網の整備
- ・都市計画区域外における土地利用コントロール
- ・新興住宅地の空洞化
- ・大規模集客施設の適正立地

(改定案)

・豊かな自然環境や歴史・文化資源との調和

⇒富士山および周辺地域が世界文化遺産登録されるなど地域固有の豊かな資源を有しており、今後とも広域圏域の魅力の維持・向上のために、豊かな自然環境や歴史・文化資源と調和した地域づくりを進めることが必要。

・国際的な観光地の魅力向上に資する基盤整備

⇒富士・東部広域圏域への来訪者は年々増加しており、安全で快適に訪れることができ、国際的な観光地の魅力向上に資する基盤整備を進めることが必要。

・大規模災害に備えた道路網の整備

⇒富士山火山噴火や南海トラフ地震の発生が懸念されており、都市と山林が近接する地域での土砂災害なども含め、大規模災害に備えた避難・救援ルート確保など、対策の強化が必要。

・都市計画区域外の土地利用コントロール

⇒鳴沢村においては、観光資源の分布や豊かな自然環境等、恵まれた地域条件により、今後開発圧力が高まることも想定され、土地利用の適切なコントロールが必要。

広域圏域の都市づくりの基本理念と方向性

・広域圏域の基本理念と方向性

- ・基本理念：都市機能の集約と連携による持続可能な都市づくりを踏まえ、「広域圏域における視点」での特徴的な理念及び方向性を整理する。

【中西部・南部広域圏域】

(現行MP)

(改定案)

基本理念

恵まれた自然や都市機能の集約を活かした様々な交流と農業や自然と調和した快適で潤いのある暮らしが育まれる広域圏域

方向性

- ・高次都市機能を集約した広域拠点の整備強化
- ・魅力的な多自然居住地域の創造
- ・自然、歴史文化、特産物などを活用した交流促進と地域振興
- ・地震災害や風水害などに配慮した安全・安心な都市空間の実現

恵まれた自然や地域資源を活かした新たな交流と、快適で潤いのある暮らしが育まれる広域圏域

- ・都市機能の集約と連携による魅力的な多自然居住地域の創造
⇒圏域の自立と県民生活を支える広域、地域、地区拠点への都市機能の誘導と連携を進めるとともに、農地や自然と調和を図りながら、ゆとりある安全・安心な居住環境を形成。
- ・高規格道路や主要幹線道路の整備推進
⇒圏域内外や拠点間の連携、人、モノの移動や交流を支える高規格道路や都市計画道路などの主要幹線道路の整備を引き続き推進。
- ・市街地の拡散抑制とコンパクトな市街地の形成
⇒無秩序な市街地の拡散を抑制し、人口減少時代に対応したコンパクトで快適な市街地を形成。
- ・都市計画区域外の秩序ある土地利用の誘導
⇒都市計画区域外における開発圧力の高まりが懸念されるエリアでは、豊かな自然と調和した秩序ある土地利用を誘導。
- ・新たな高速交通体系の構築を活かした産業立地の推進
⇒中部横断自動車道や新山梨環状道路等の整備を契機として、ICなど交通結節点周辺へ産業立地を推進。
- ・広域交流拠点と観光・交流ネットワークの整備
⇒リニア駅周辺整備とともに、リニア駅30分アクセス圏域の拡大、県内バス交通ネットワークの再編・整備を推進。
- ・地震災害や風水害などに配慮した安全・安心な都市空間の実現
⇒防災機能を有する森林や農地に対し、都市側の関与を高めることで、その保全・活用を図るとともに、安全な市街地の整備等を進め、被災時に周辺都県間の応援に必要な機能を有する防災拠点や道路・交通・情報ネットワークの整備の推進により、安全・安心な都市空間の実現を目指す。

広域圏域の都市づくりの基本理念と方向性

・広域圏域の基本理念と方向性

【富士・東部広域圏域】

(現行MP)

(改定案)

基本理念

富士山・富士五湖等の観光資源、自然、歴史、文化などの地域特性、首都圏近郊の立地条件を活かした交流と産業の展開する広域圏域

世界有数の観光資源や自然、歴史、文化などの地域特性を活かした交流と産業の展開する広域圏域

方向性

- ・交流が展開する魅力的なリゾート地の育成
- ・首都圏との近接性、豊かな自然、歴史、文化を活かした交流促進と地域振興
- ・都市的なサービスや就業機会の提供など地域の生活を支える地域拠点・地区拠点の整備
- ・地震災害や火山災害などに配慮した安全・安心な都市空間の実現

・交流が展開する魅力的なリゾート地の育成

⇒富士山、富士五湖など世界有数の観光地として、自然環境と調和した土地利用や景観の誘導や交通施設、基盤整備の推進などにより、質の高い魅力的な国際観光・リゾート地として育成。

・首都圏との近接性、豊かな自然、歴史、文化を活かした交流促進と地域振興

⇒豊かな自然や観光資源、大学、織物産業等の地域資源を有しており、首都圏との近接性を活かした交流促進と地域振興を図る。

・都市的なサービスや就業機会の提供など地域の生活を支える拠点の整備

⇒急峻な地形の多い圏域の特性を活かして、都市機能、居住機能を鉄道などの軸上にコンパクトに集約し、拠点整備とその連携を図る。

・地震災害や火山災害などに配慮した安全・安心な都市空間の実現

⇒防災機能を有する森林や農地に対し、都市側の関与を高めることで、その保全・活用を図るとともに、安全な市街地の整備等を進め、被災時に周辺都県間の応援に必要な機能を有する防災拠点や道路・交通・情報ネットワークの整備の推進により、安全・安心な都市空間の実現を目指す。

・都市計画区域外の秩序ある土地利用の誘導

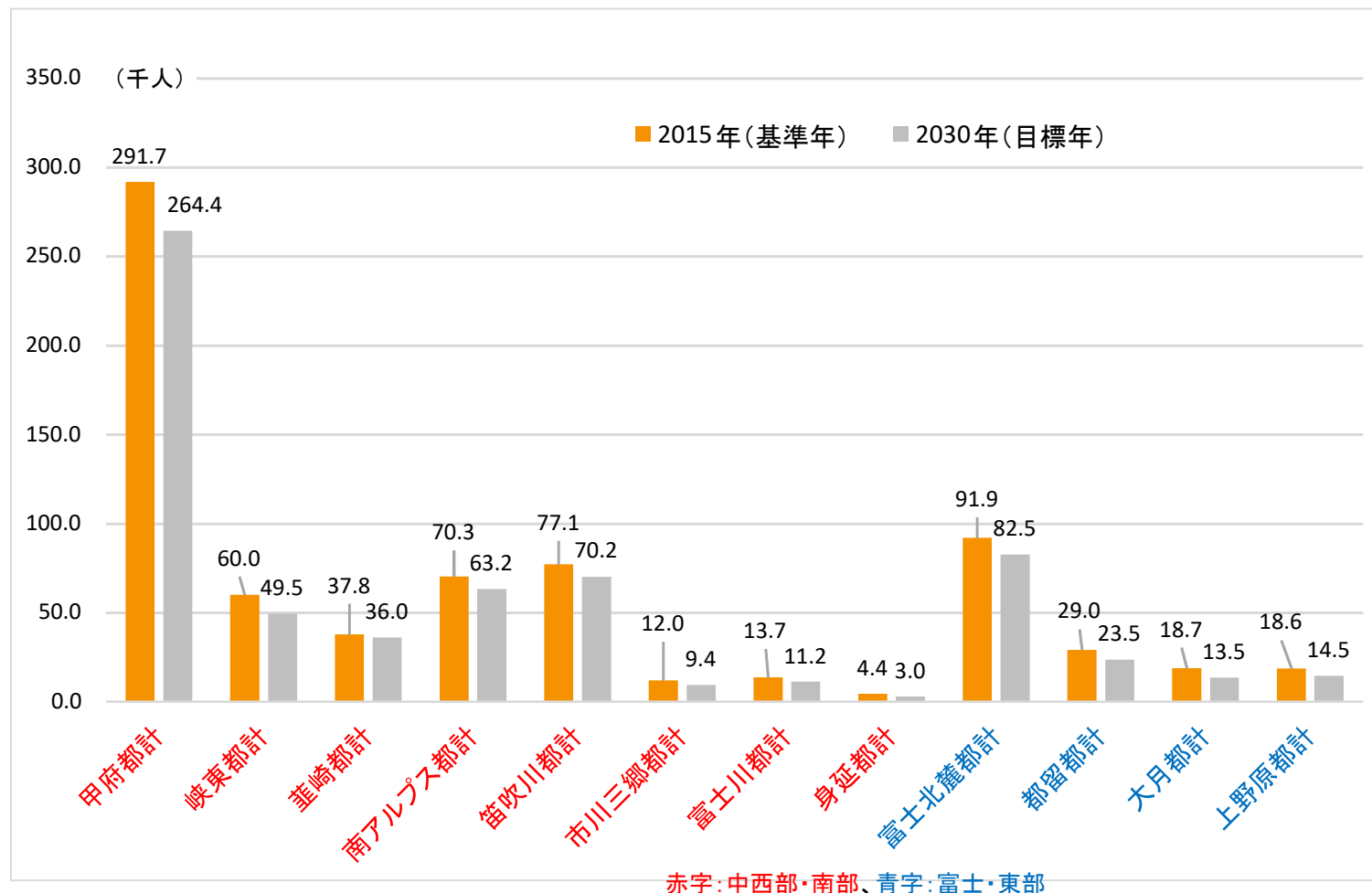
⇒都市計画区域外における開発圧力の高まりが懸念されるエリアでは、豊かな自然と調和した秩序ある土地利用を誘導。

2. 広域圏域の人口、産業

人口の現況と将来見通し

・都市計画区域内人口の推計

・どの都市計画区域においても、2015年(基準年)から2030年(目標年)にかけて減少傾向である。



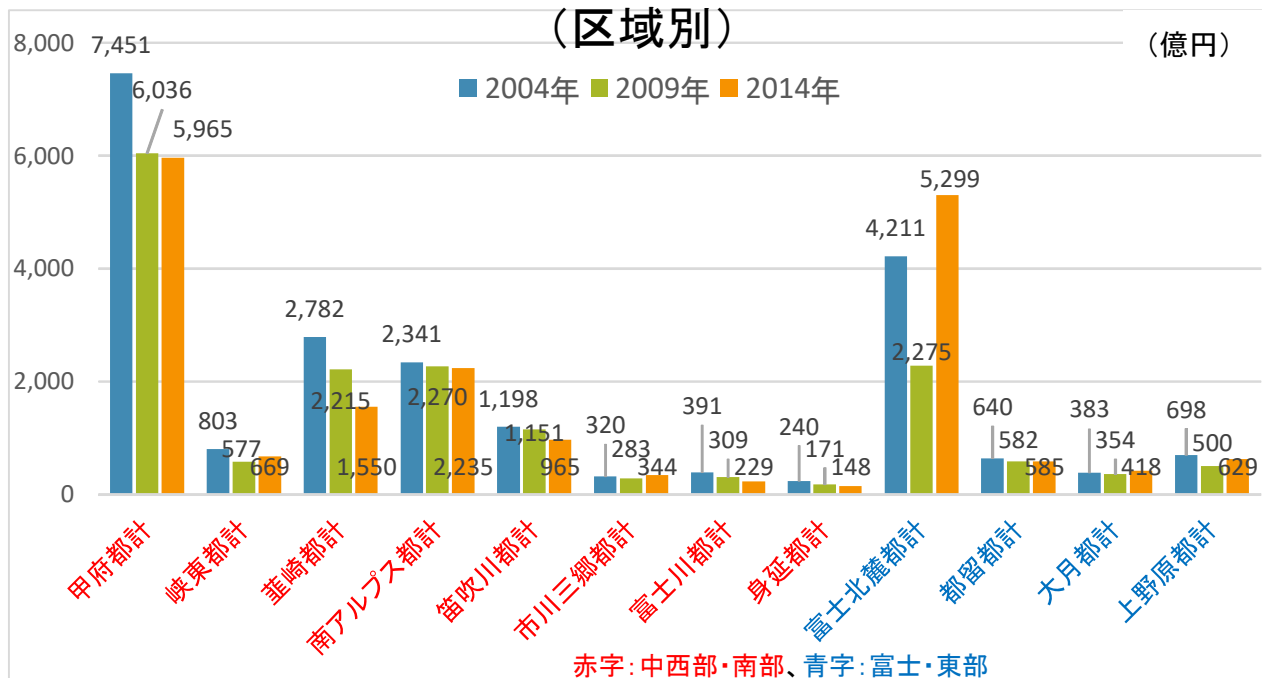
産業の現況と将来見通し

生産規模の現況

- ・過去5年の製造品出荷額は微増減の区域が多い。
- ・2014年の富士北麓都市計画区域では、忍野村において、2009年(1,036億円)から2014年(3,313億円)にかけて大幅な増加がみられたことが急増した要因と考えられる。
- ・県全体の推計では、将来的には増加が予測される。

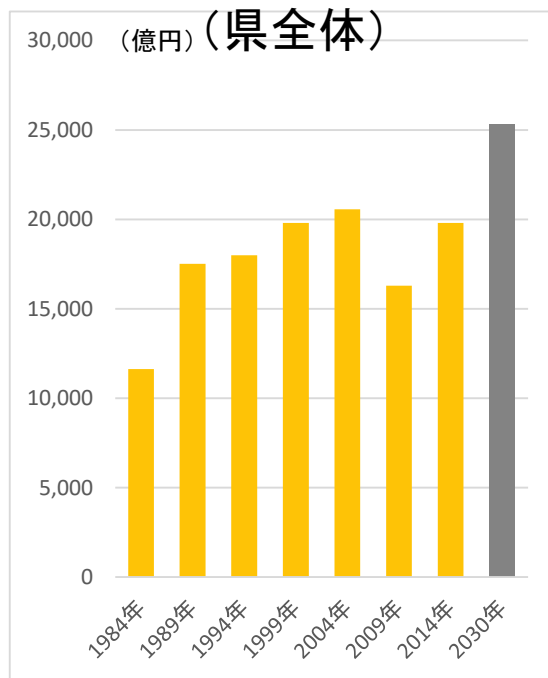
【製造品出荷額の推移】

(区域別)



【製造品出荷額の推計】

(県全体)



※1 数値データについては、各都市計画区域の構成市町村単位の合計となっている。但し、韮崎都市計画区域から甲斐市、笛吹川都市計画区域から甲府市・中央市、市川三郷都市計画区域から富士川町を抜いて算出している。

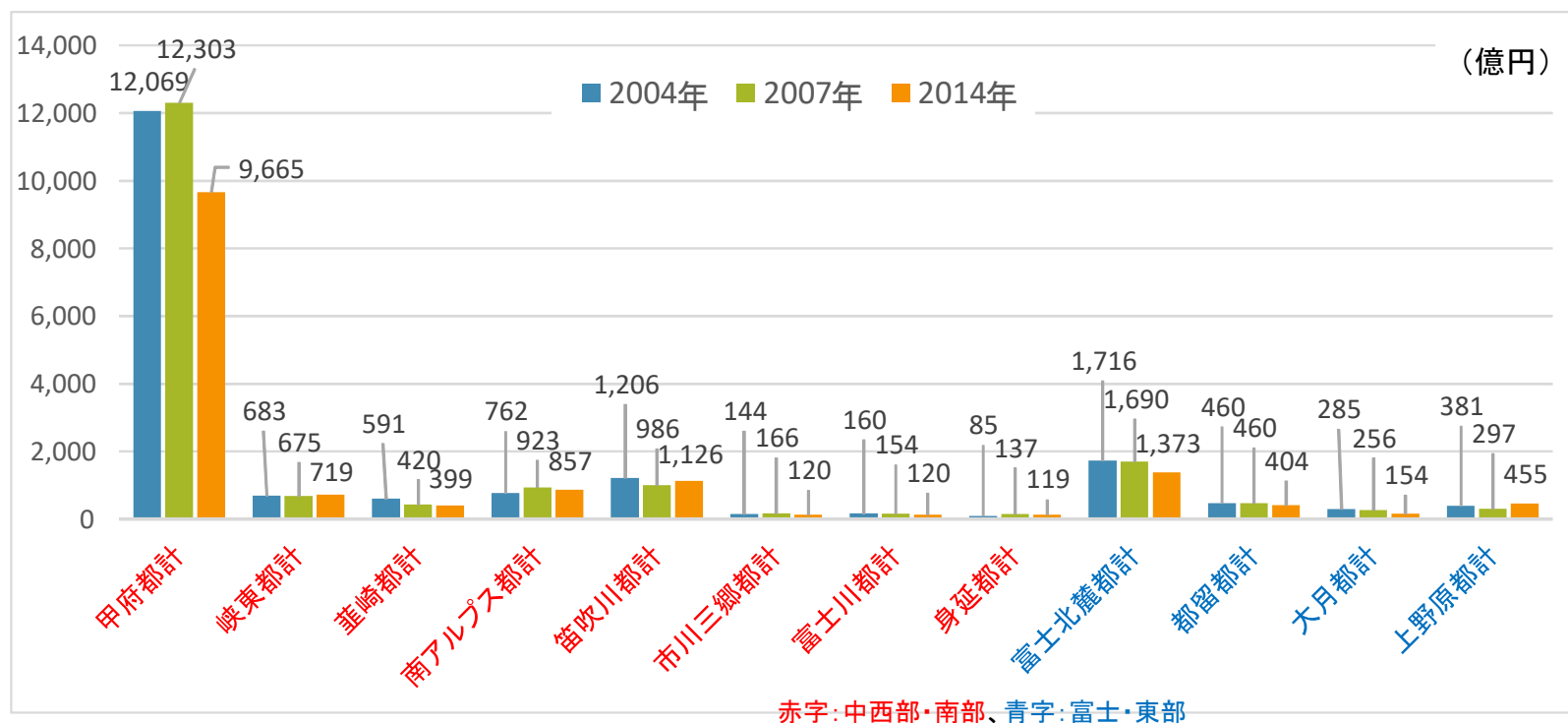
※2 富士北麓都市計画区域の山中湖村では、2004年・2009年のデータ公表なし。

産業の現況と将来見通し

・商業規模の現況

・商業規模の大きい都市計画区域では卸小売販売額が減少傾向にある。

【卸小売販売額の推移】



※ 数値データについては、各都市計画区域の構成市町村単位の合計となっている。但し、埼玉都市計画区域から甲斐市、笛吹川都市計画区域から甲府市・中央市、市川三郷都市計画区域から富士川町を抜いて算出している。

出典: 商業統計

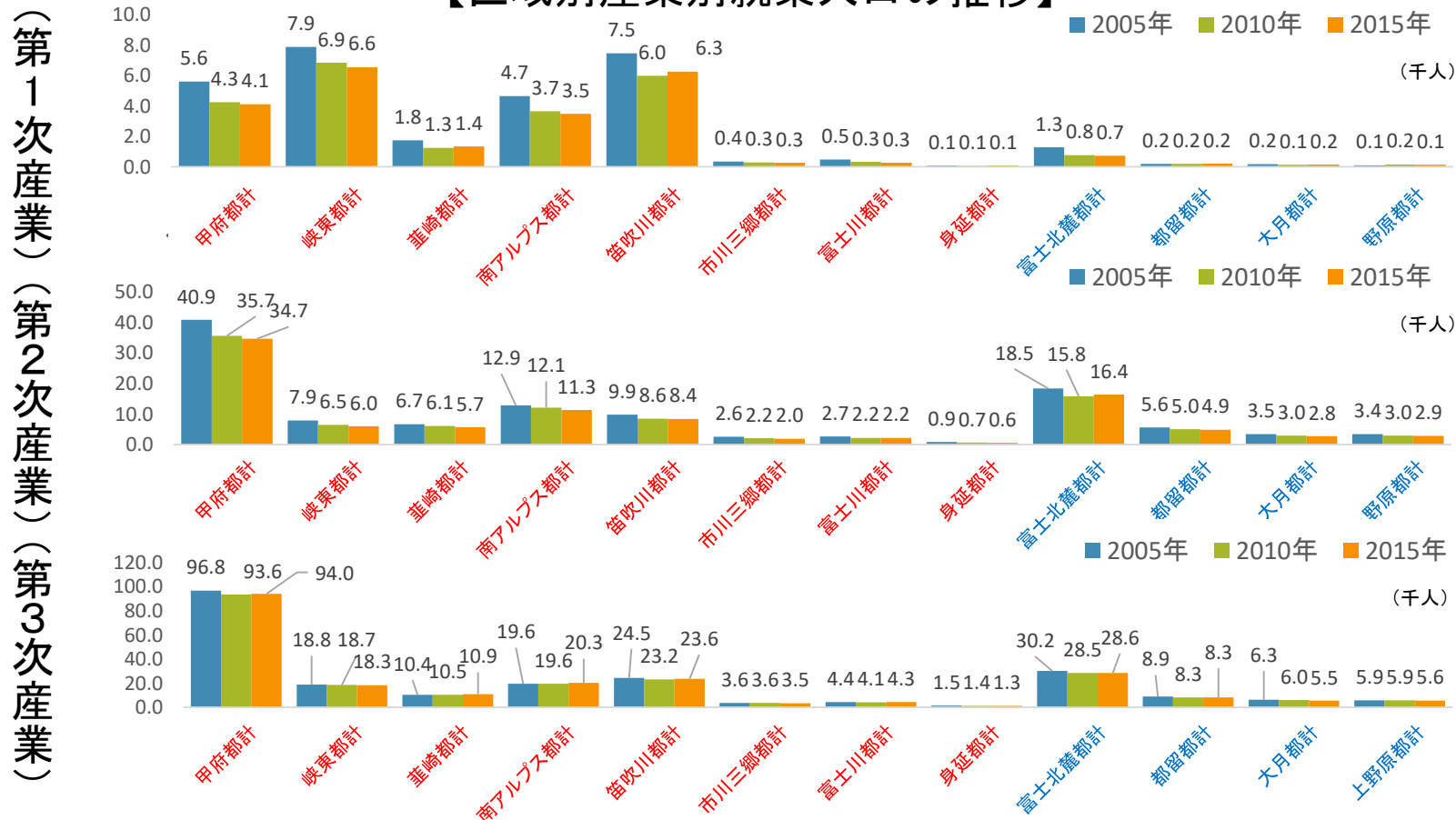
産業の現況と将来見通し

・就業構造の現況

- ・大半の都市計画区域ではどの産業においても減少傾向にある。
- ・また、どの区域も第3次産業が最も多く、第1次産業が最も少ない。

※就業構造: 15歳以上の産業別就業人口(専業主婦や失業者は含まない)

【区域別産業別就業人口の推移】



赤字: 中西部・南部、青字: 富士・東部

出典: 国勢調査

3. 目指すべき広域圏域都市構造、 主要な都市機能の配置

拠点、地区

・広域拠点、地域拠点、広域交流拠点

- ・広域拠点、地域拠点※は、徐々にではあるが都市機能等の集約化が図られており、今後も持続可能な拠点としてその育成を進めていく。
- ・広域交流拠点であるリニア山梨県駅周辺は、リニア環境未来都市整備方針に示された機能を基本に、今後の計画検討の進捗に合わせて土地利用、都市施設の整備等の方針を検討していく。

※準ずる地区(既存都市機能立地地区、都市機能補完地区)を含む

広域圏域	都市計画区域	拠点・地区の位置				
		広域拠点	広域交流拠点	地域拠点	既存都市機能立地地区	都市機能補完地区
中西部・南部	甲府	・甲府駅周辺	・リニア山梨県駅周辺			・甲府昭和IC周辺 ・竜王駅周辺 ・中央市リバーサイド地区 ・山梨大学医学部周辺 ・昭和町常永地区
	峡東			・山梨市駅周辺 ・塩山駅周辺		
	韮崎			・韮崎駅周辺		
	南アルプス				・南アルプス市役所周辺	
	笛吹川			・石和温泉駅周辺		
	市川三郷				・市川地区中央部	
	富士川			・富士川町役場周辺		
	身延				・身延町役場身延支所周辺	
	都計外(北杜市)				・長坂駅周辺	
富士・東部	富士北麓	・富士吉田市中心市街地			・河口湖駅周辺	
	都留			・都留市谷村地区		
	大月			・大月駅周辺		
	上野原			・上野原地区中心市街地		

拠点、地区

・広域拠点、地域拠点、広域交流拠点

【都市的拠点の考え方】

広域拠点	山梨県の自立的発展を図るため、利用圏域が複数の市町村にまたがるような拠点として、国際化、情報化の進展に対応した中枢業務機能、高次の医療、多様なニーズに対応した教育、文化、国際交流、商業等の都市機能の集積を図る。
地域拠点	都市圏域の自立を支え、牽引する拠点として、行政、医療、教育、文化、商業等の多様な都市機能のうち、生活圈や経済活動の広がりに応じ複数の都市機能を有し、不足する機能は地域拠点間同士もしくは広域拠点との連携により互いに補完する。
既存都市機能立地地区	人口の集積状況については地域拠点には及ばないものの、本県の発展に寄与してきた市街地で、一定の交通アクセスを有し、地区内に地域拠点と同程度の都市機能が集積しており、今後もその都市機能の維持が求められる地区。
都市機能補完地区	土地区画整理事業などの計画的なまちづくりが既に行われ、昼夜間ともに相当な人口の集積があり(又は目指しており)、都市機能の集積は十分ではないものの既に一部に都市機能が立地し、現状として広域拠点や地域拠点を補完する役割を果たしている地区。拡大成長を前提とした都市構造から持続可能な都市構造への転換期において、当面、広域的な都市機能の受け皿とする。
地区拠点	身近な生活に密着した活動を支える拠点として、公共公益施設、日用品を扱う商業施設等の日常サービスを提供する。

【新しい拠点の考え方】

広域交流拠点	リニア山梨県駅を中心に交通結節機能、観光交流・産業振興機能を担う拠点を創出する。
--------	--

拠点、地区

・地区拠点候補地

- ・広域拠点や地域拠点等の周辺地域においては、身近な生活に密着した活動を支える拠点としての地区拠点の整備を進める必要があります、その候補地についてここに示す。
- ・地区拠点は市町村との調整により選定しており、候補地は59地区(中西部・南部:41、富士・東部:18)。

【広域圏域別地区拠点候補地一覧】

(中西部・南部広域圏域)

市町村	地区名
甲府市	南甲府駅周辺、甲斐住吉駅周辺、酒折駅及び善光寺駅周辺、山梨大学周辺、湯村温泉郷周辺、県立美術館周辺、南西中学校周辺、国母駅周辺
山梨市	東山梨駅周辺、山梨厚生病院周辺
韮崎市	藤井地区
南アルプス市	八田支所周辺、白根支所周辺、甲西支所周辺、若草支所周辺、浅原・東南湖商業施設周辺
甲斐市	塩崎駅周辺
笛吹市	一宮支所周辺、御坂支所周辺、八代支所周辺、境川農産物直売所周辺、春日居支所周辺
甲州市	塩山市民病院周辺、勝沼支所周辺、甲斐大和駅周辺
中央市	玉穂庁舎周辺、東花輪駅周辺
市川三郷町	上野地区、岩間地区
身延町	下山地区、身延駅前、飯富地区
富士川町	鵜沢市街地
北杜市	明野地区(上手)、須玉地区(若神子、穂足)、高根地区(村山北・西割)、高根地区(清里駅前)、大泉地区(谷戸)、小淵沢地区、白州町(白州)、武川(牧原)
計	41地区

(富士・東部広域圏域)

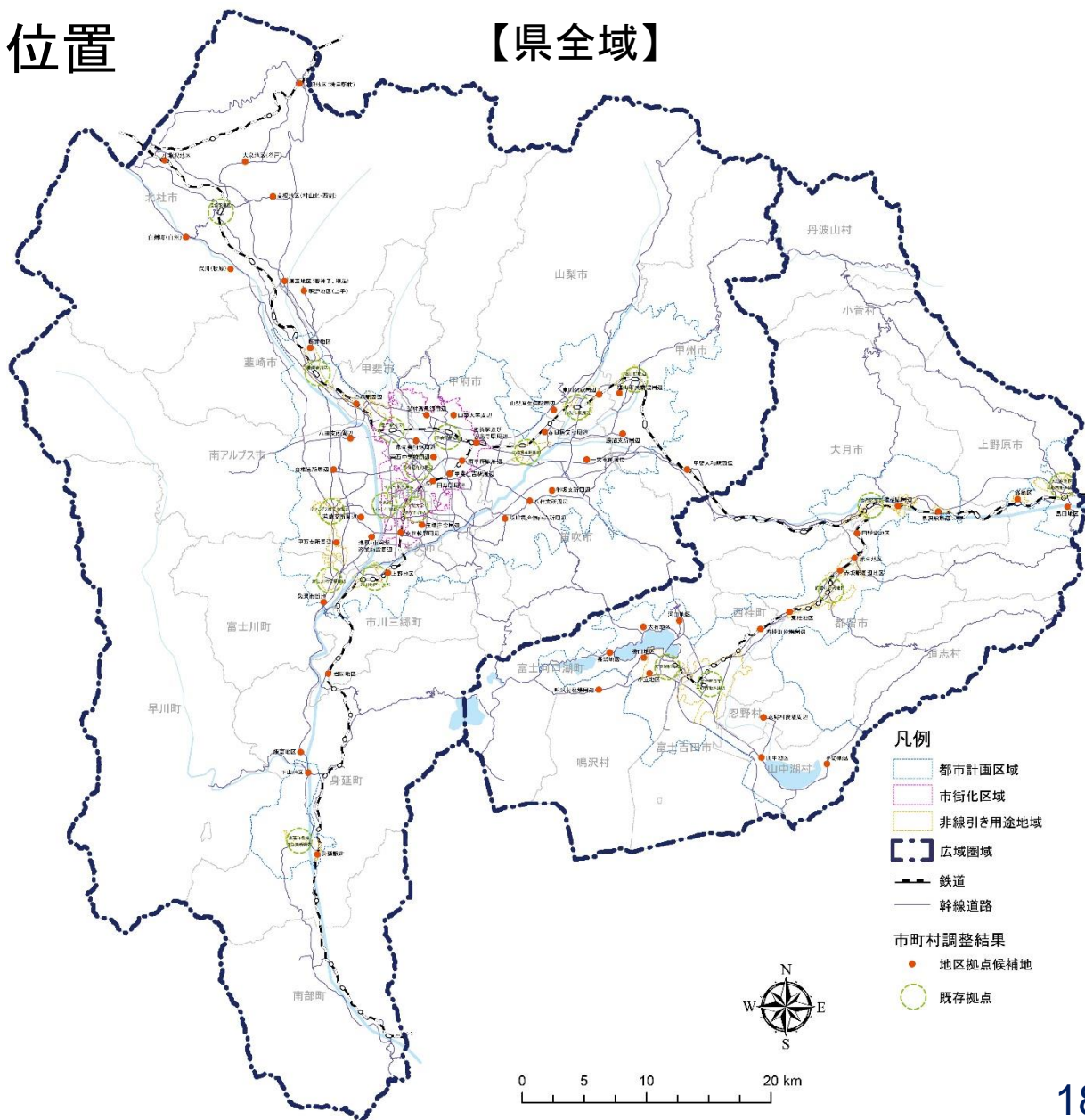
市町村	地区名
都留市	東桂地区、赤坂駅周辺地区、禾生地区、田野倉地区
大月市	猿橋駅周辺、鳥沢駅周辺
上野原市	巖地区、島田地区
西桂町	西桂町役場周辺
忍野村	忍野村役場周辺
山中湖村	山中地区、平野地区
富士河口湖町	小立地区、勝山地区、河口地区、大石地区、長浜地区
鳴沢村	鳴沢村役場周辺
計	18地区

拠点、地区

・地区拠点候補地の位置

【県全域】

	都市計画区域内	都市計画区域外
甲府市	8	0
都留市	4	0
山梨市	2	0
大月市	2	0
韮崎市	1	0
南アルプス市	5	0
甲斐市	1	0
笛吹市	5	0
上野原市	2	0
甲州市	2	1
中央市	2	0
市川三郷町	1	1
身延町	2	1
富士川町	1	0
昭和町	0	—
西桂町	1	—
忍野村	1	—
山中湖村	2	—
富士河口湖町	5	0
北杜市	—	8
早川町	—	0
南部町	—	0
道志村	—	0
鳴沢村	—	1
小菅村	—	0
丹波山村	—	0
計	47	12



拠点、地区

・地区拠点候補地の位置



拠点、地区

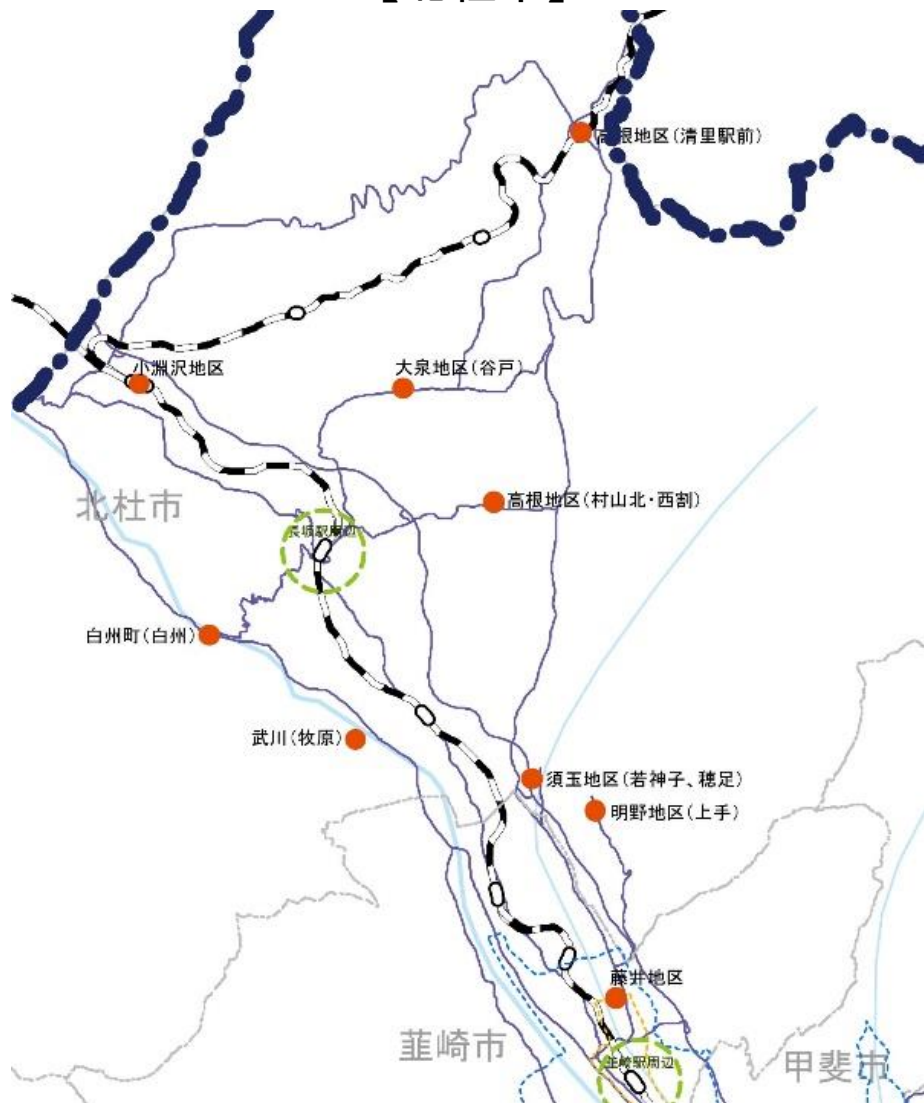
・地区拠点候補地の位置



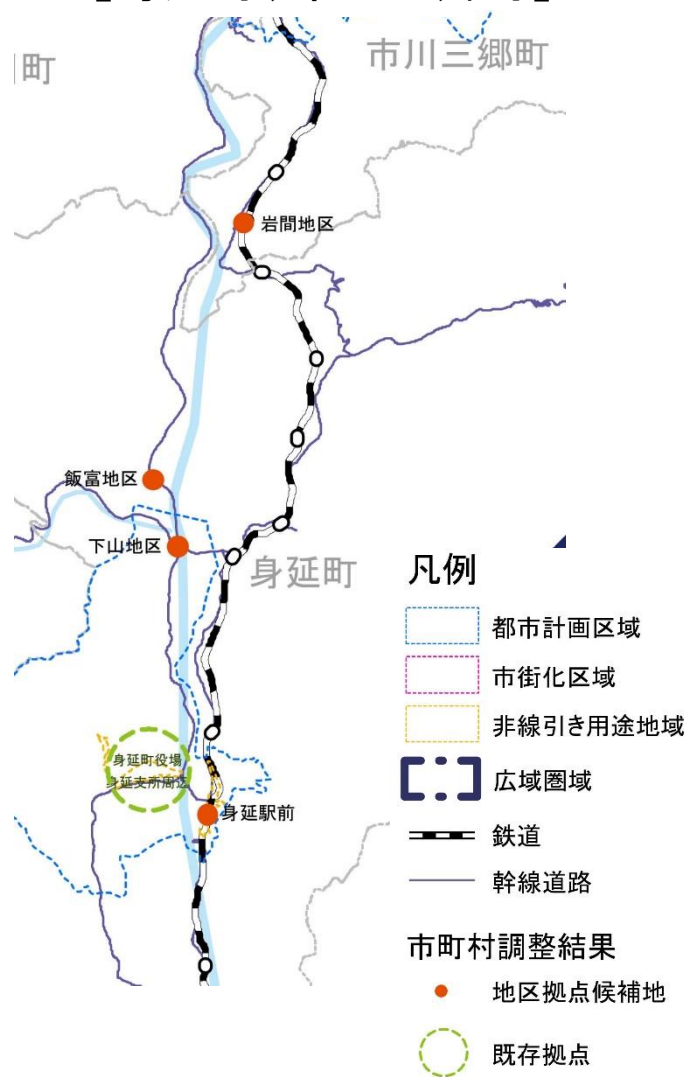
拠点、地区

・地区拠点候補地の位置

【北杜市】



【身延町、市川三郷町】



拠点、地区

・産業集積地の考え方

- ・本県の経済活動を支える工業などの産業機能が集積する地区であり、拠点と幹線道路等のネットワークも踏まえ、その位置をマスタープランに示すことにより、既存機能の維持や市町村の新たな取り組みを支援する。
- ・候補地として、既存工業団地に加え、市町村の取組状況をヒアリングした結果から、81地区を抽出した。
- ・今後、「やまなし未来ものづくり推進計画」に基づいた地域経済をけん引する産業の立地について、関係各課等と調整し、その配置を検討。

【市町村別の産業集積地候補地数】

市町村	既存団地	ヒアリング	市町村	既存団地	ヒアリング
甲府市	3	3	中央市	3	—
富士吉田市	—	2	上野原市	—	3
都留市	1	3	市川三郷町	1	3
大月市	2	—	富士川町	1	1
山梨市	—	6	身延町	—	3
韮崎市	3	1	南部町	2	1
南アルプス市	9	—	昭和町	—	2
北杜市	9	3	忍野村	1	1
甲斐市	1	—	鳴沢村	—	1
笛吹市	5	3	富士河口湖町	—	1
甲州市	3	—	計	44	37

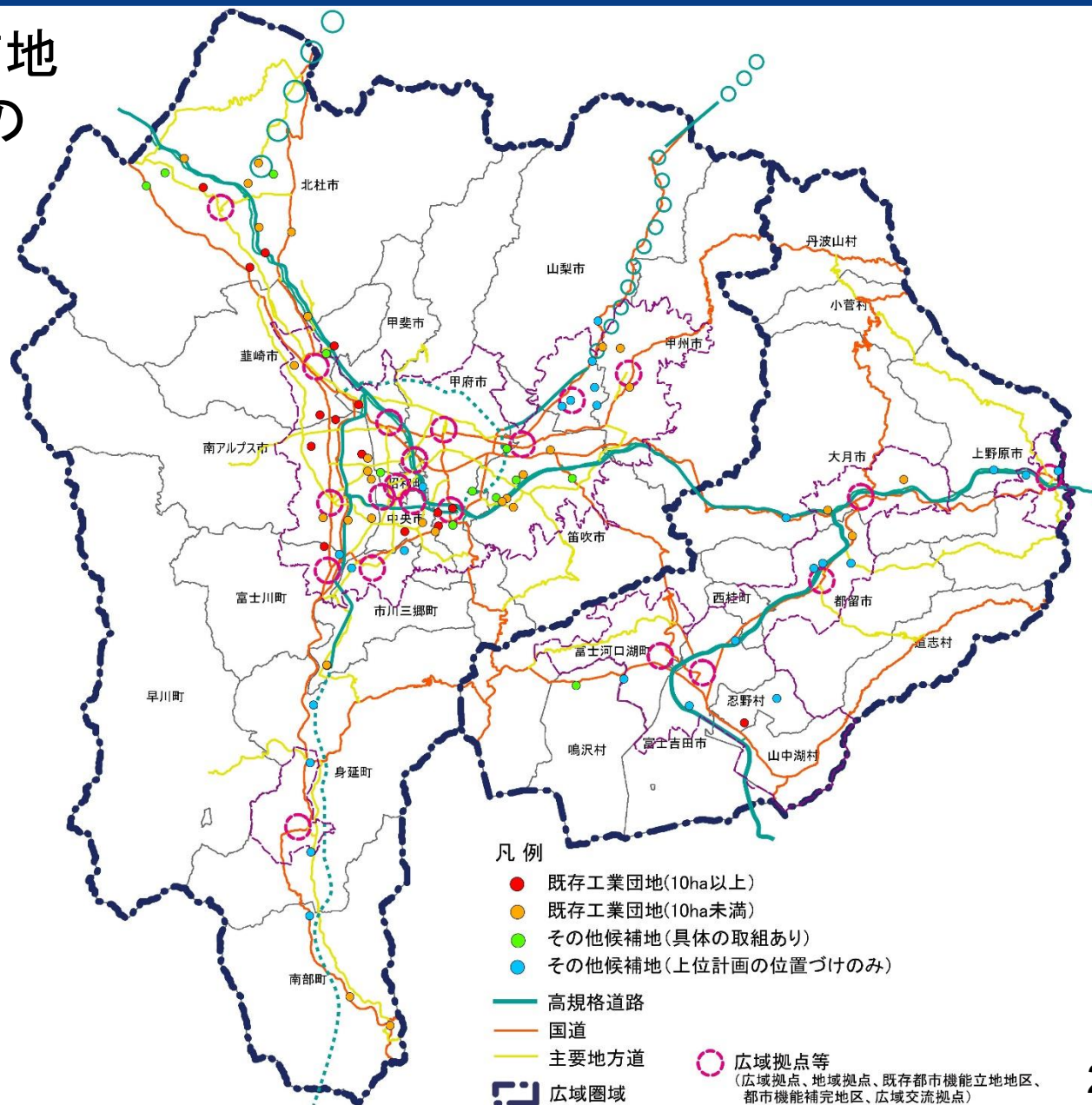
拠点、地区

・産業集積地候補地



拠点、地区

- 産業集積地候補地
(広域拠点等との
関係)



その他、広域的機能を有する地区

・その他、広域的機能を有する地区

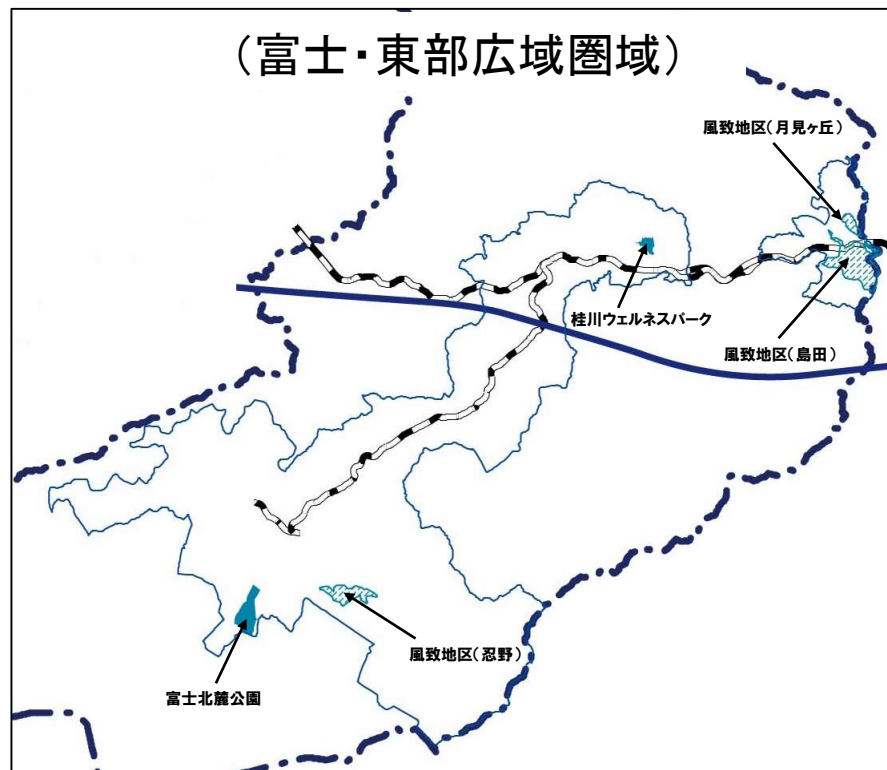
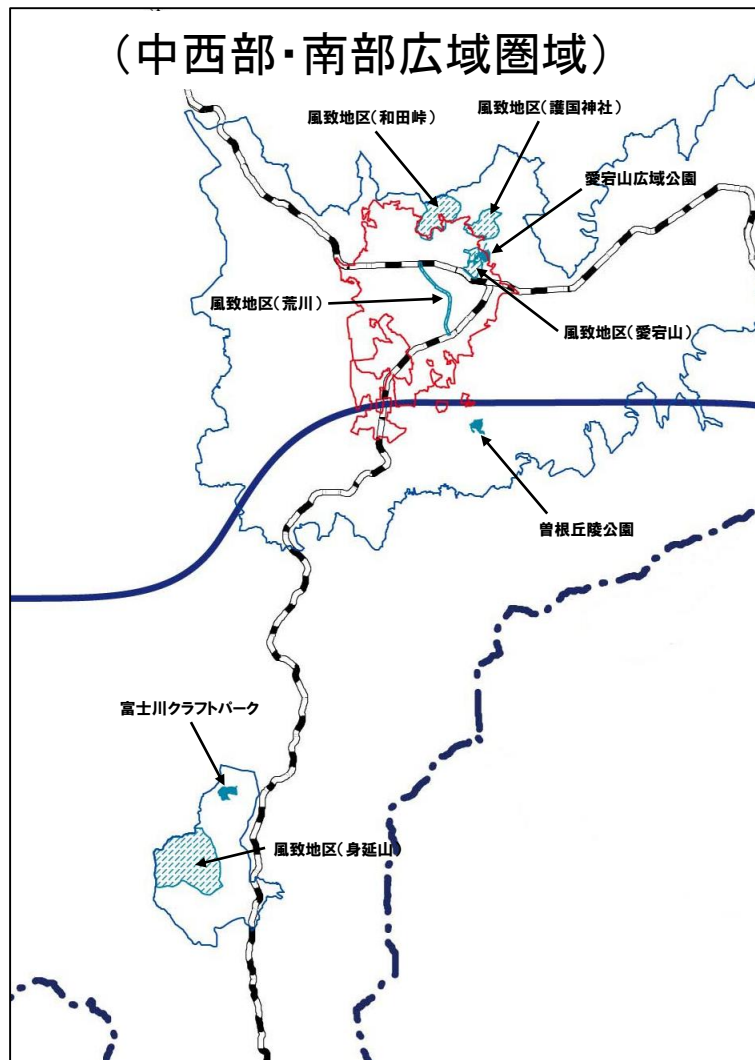
- ・広域のレクリエーション機能を提供する広域公園や、広域の都市の風致を維持するために定められる風致地区について、その環境の維持・保全を図る。
- ・観光を主たる目的とした宿泊施設等が集積する地区について、景観、防災、ユニバーサルデザイン等に配慮した良好な市街地環境の形成を図る。

【その他、広域的機能を有する地区】

広域圏域	位置	
	広域公園及び風致地区	宿泊施設の集積地
中西部・南部広域圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・愛宕山広域公園 ・曾根丘陵公園 ・富士川クラフトパーク ・風致地区 (愛宕山、護国神社、荒川、和田峠、身延山) 	<ul style="list-style-type: none"> ・清里駅周辺 ・小淵沢駅周辺 ・湯村温泉 ・甲府駅周辺 ・石和温泉 ・下部温泉
富士・東部広域圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・富士北麓公園 ・桂川ウェルネスパーク ・風致地区 (忍野、月見ヶ丘、島田) 	<ul style="list-style-type: none"> ・河口湖周辺 ・富士吉田市周辺 ・山中湖周辺

その他、広域的機能を有する地区

・広域公園及び風致地区

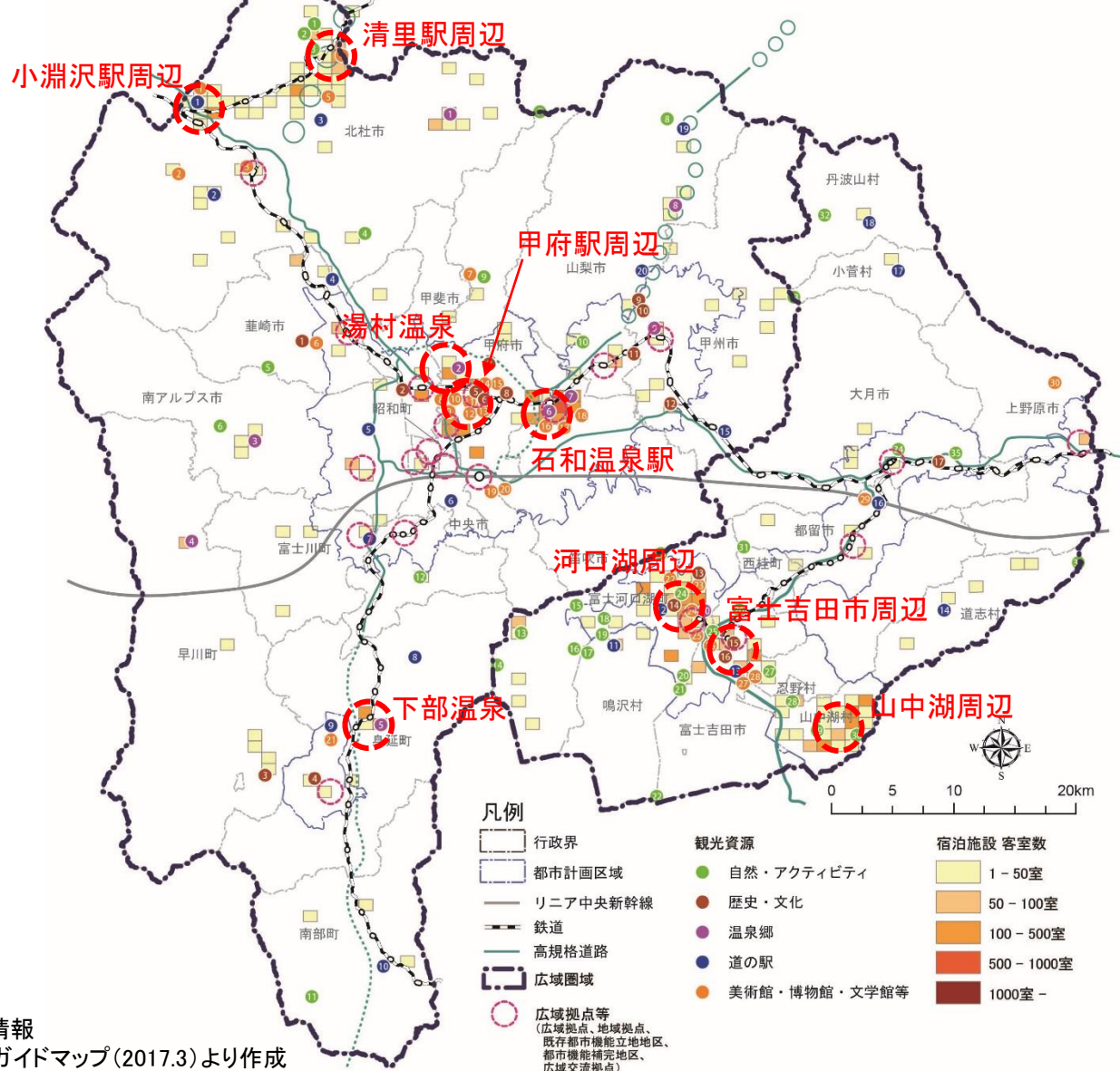


凡例

風致地区 広域公園

その他、広域的機能を有する地区

・宿泊施設の集積状況と主な観光資源



出典：宿泊施設は国土数値情報
観光資源は山梨観光ガイドマップ(2017.3)より作成

その他、広域的機能を有する地区

・県内の主な観光資源

- | | | | | | |
|-----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------------|
| 1 清里高原 | 31 ミツ峠 | 1 武田八幡宮 | 1 こぶちざわ | 1 増富ラジウム温泉郷 | 1 中村キース・ヘリング美術館 |
| 2 東沢大橋 | 32 丹波山溪谷 | 2 信玄堤公園 | 2 はくしゅう | 2 湯村温泉郷 | 2 サントリーウイスキー博物館 |
| 3 吐竜の滝 | 33 大菩薩峠 | 3 赤沢宿 | 3 南きよさと | 3 芦安温泉郷 | 3 青春旅と空想の美術館 |
| 4 フラワーセンターハイジの村 | 34 岩殿山 | 4 身延山久遠寺 | 4 にらさき | 4 西山温泉郷 | 4 ホール・オブ・ホールズ |
| 5 甘利山 | 35 桂川ウェルネスパーク | 5 武田信玄公像 | 5 しらね | 5 下部温泉郷 | 5 清里フォトアートミュージアム |
| 6 夜叉神峠 | 36 道志溪谷 | 6 舞鶴城公園 | 6 とよとみ | 6 石和温泉郷 | 6 葦崎大村美術館 |
| 7 金峰山 | | 7 武田神社 | 7 富士川 | 7 春日居温泉郷 | 7 昇仙峡影絵の森美術館 |
| 8 西沢溪谷 | | 8 甲斐善光寺 | 8 しもべ | 8 三富温泉郷（川浦温泉） | 8 県立美術館 |
| 9 昇仙峡 | | 9 放光寺 | 9 みのぶ富士川観光センター | 9 塩山温泉郷 | 9 山梨県立文学館 |
| 10 笛吹川フルーツ公園 | | 10 恵林寺 | 10 とみざわ | 10 富士河口湖温泉郷 | 10 クリスタルミュージアム |
| 11 富士川溪谷 | | 11 清白寺 | 11 なるさわ | | 11 山梨近代人物館 |
| 12 四尾連湖 | | 12 大善寺本堂 | 12 かつやま | | 12 山梨ジュエリーミュージアム |
| 13 精進湖 | | 13 河口浅間神社 | 13 富士吉田 | | 13 印傳博物館 |
| 14 本栖湖 | | 14 富士御室浅間神社 | 14 どうし | | 14 小さな蔵の美術館 |
| 15 西湖いやしの里根場 | | 15 御師旧外川家住宅 | 15 甲斐大和 | | 15 県立科学館 |
| 16 富岳風穴 | | 16 北口本宮富士浅間神社 | 16 つる | | 16 やまなし伝統工芸館 |
| 17 鳴沢氷穴 | | 17 名勝猿橋 | 17 こすげ | | 17 山梨県立博物館 |
| 18 西湖 | | | 18 たばやま | | 18 お菓子の美術館 |
| 19 紅葉台 | | | 19 みとみ | | 19 山梨県立考古博物館 |
| 20 富士すばるランド | | | 20 花かげの郷まきおか | | 20 象牙彫刻美術館 |
| 21 船津胎内樹型 | | | | | 21 富士川切り絵の森美術館 |
| 22 富士山 | | | | | 22 久保田一竹美術館 |
| 23 新道峠 | | | | | 23 河口湖オルゴールの森 |
| 24 河口湖 | | | | | 24 山梨宝石美術館 |
| 25 富士急ハイランド | | | | | 25 山梨県立富士山世界遺産センター |
| 26 新倉山浅間公園 | | | | | 26 フジヤマミュージアム |
| 27 忍野八海 | | | | | 27 ふじさんミュージアム |
| 28 山中湖花の都公園 | | | | | 28 県立富士湧水の郷水族館 |
| 29 山中湖 | | | | | 29 山梨県立リニア見学センター |
| 30 パノラマ台 | | | | | 30 ふるさと長寿館 |

軸

・軸

- ・広域圏域間や県外、主要拠点を結ぶ軸を位置づけ、交流、連携、支援の強化を図る。
- ・圏域内を結ぶ軸を位置づけ、拠点等の連携を支え、県民の交流を支援していく。

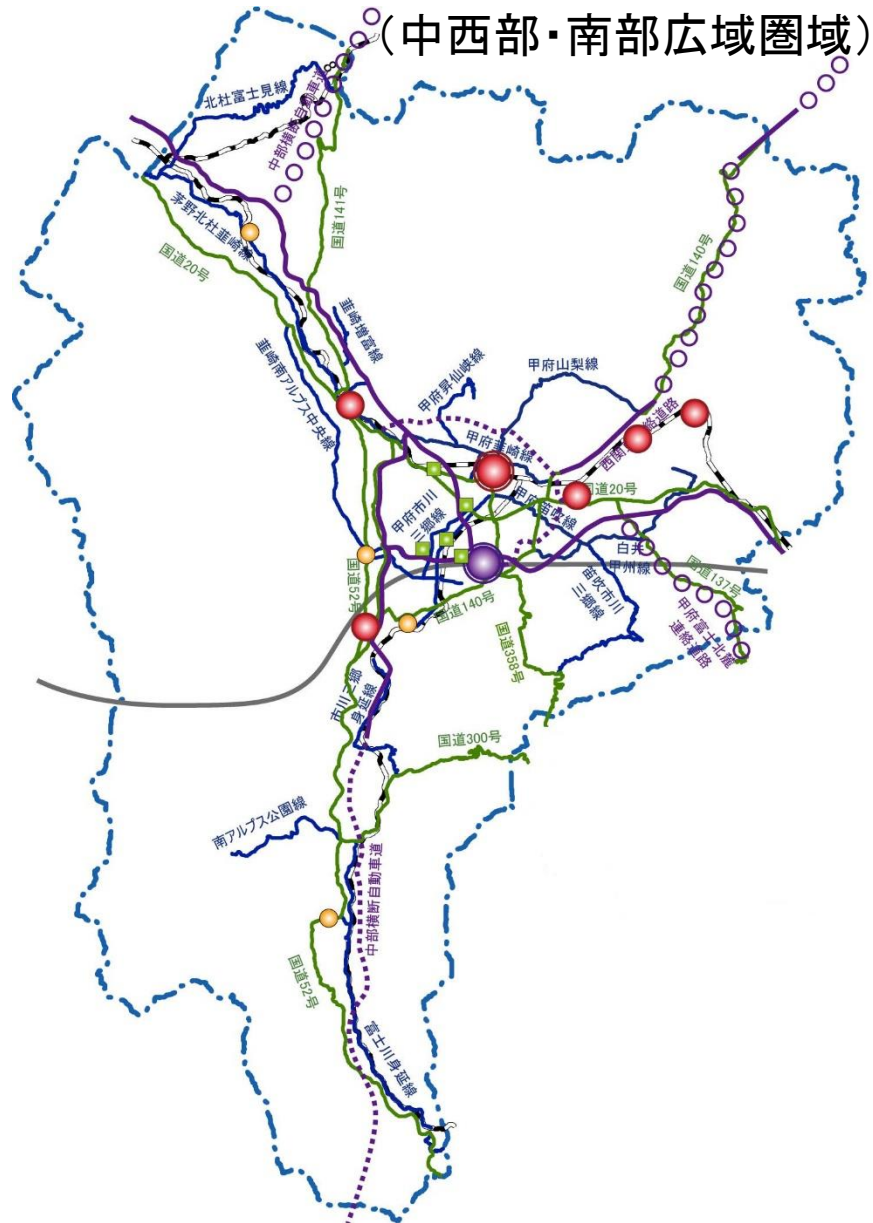
【軸を形成する道路、鉄道】

	圏域間や県外を結ぶ軸	圏域内を結ぶ軸
中西部 ・南部	<ul style="list-style-type: none"> ・中央自動車道 ・中部横断自動車道 ・西関東連絡道路 ・甲府富士北麓連絡道路 ・国道20、52、137、140、141、300号 等 ・JR中央本線、身延線、小海線 ・リニア中央新幹線 	<ul style="list-style-type: none"> ・新山梨環状道路 ・以下の主要地方道 甲府市川三郷線、甲府昇仙峡線、 市川三郷身延線、富士川身延線、 北杜富士見線、韮崎南アルプス中央線、 茅野北杜韮崎線、韮崎増富線、 韮崎昇仙峡線、甲府山梨線、 笛吹市川三郷線、南アルプス公園線 等
富士・ 東部	<ul style="list-style-type: none"> ・中央自動車道、中央自動車道富士吉田線 ・東富士五湖道路 ・甲府富士北麓連絡道路 ・国道20、137、138、139、300号 等 ・JR中央本線 ・富士急行線 	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の主要地方道 上野原丹波山線、 四日市場上野原線 等

3. 目指すべき広域圏域都市構造、主要な都市機能の配置

軸

・軸



凡例

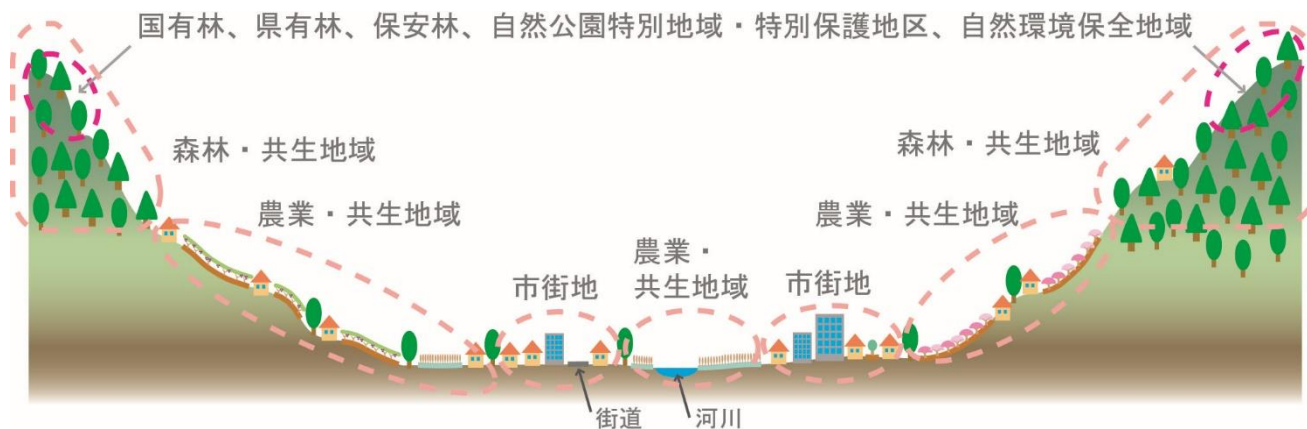
- 鉄道(JR・富士急行)
- リニア中央新幹線
- 高規格道路
- 幹線道路(圏域間・県外)
- 幹線道路(圏域内)

土地利用

・土地利用

・「目指すべき県土構造」で示した市街地、農業・共生地域、森林共生地域の3地域の土地利用区分を広域圏域毎に断面構造で示す。

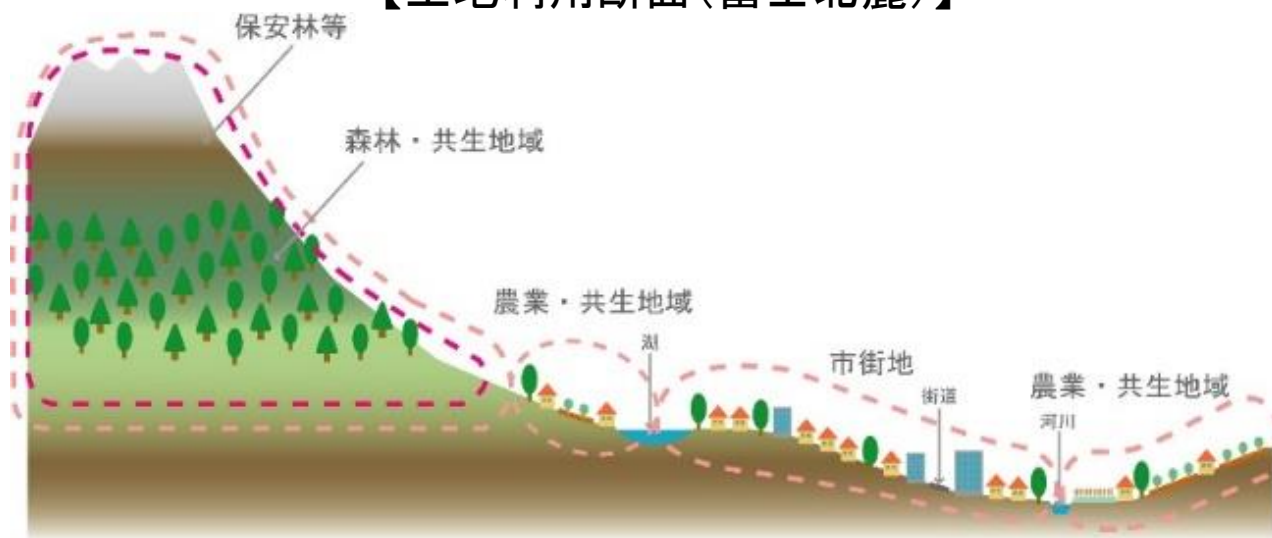
【土地利用断面(甲府盆地)】



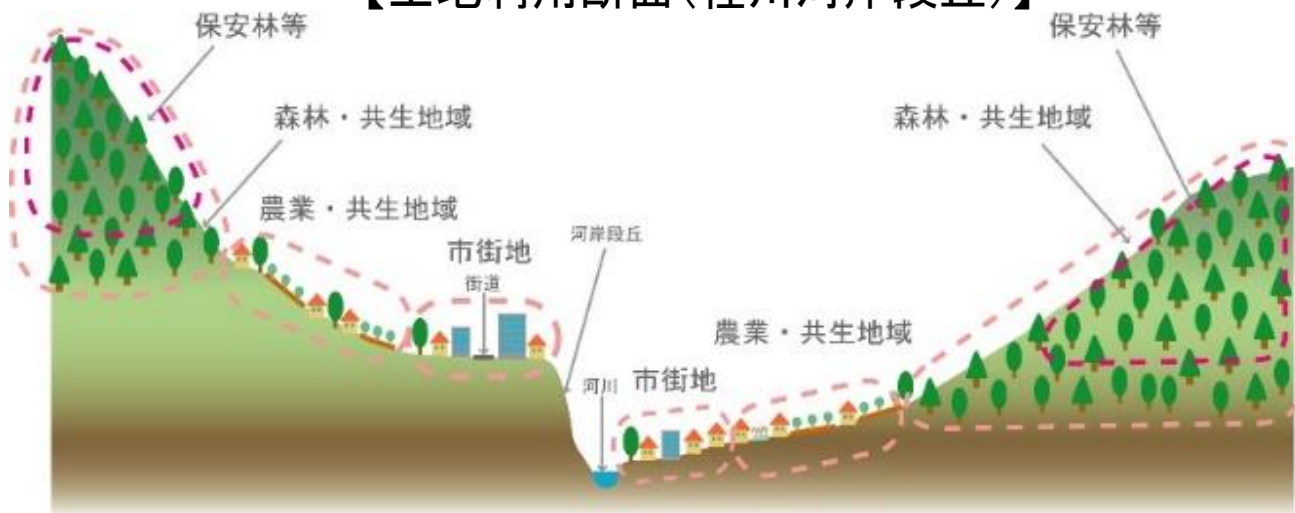
土地利用

・土地利用

【土地利用断面(富士北麓)】



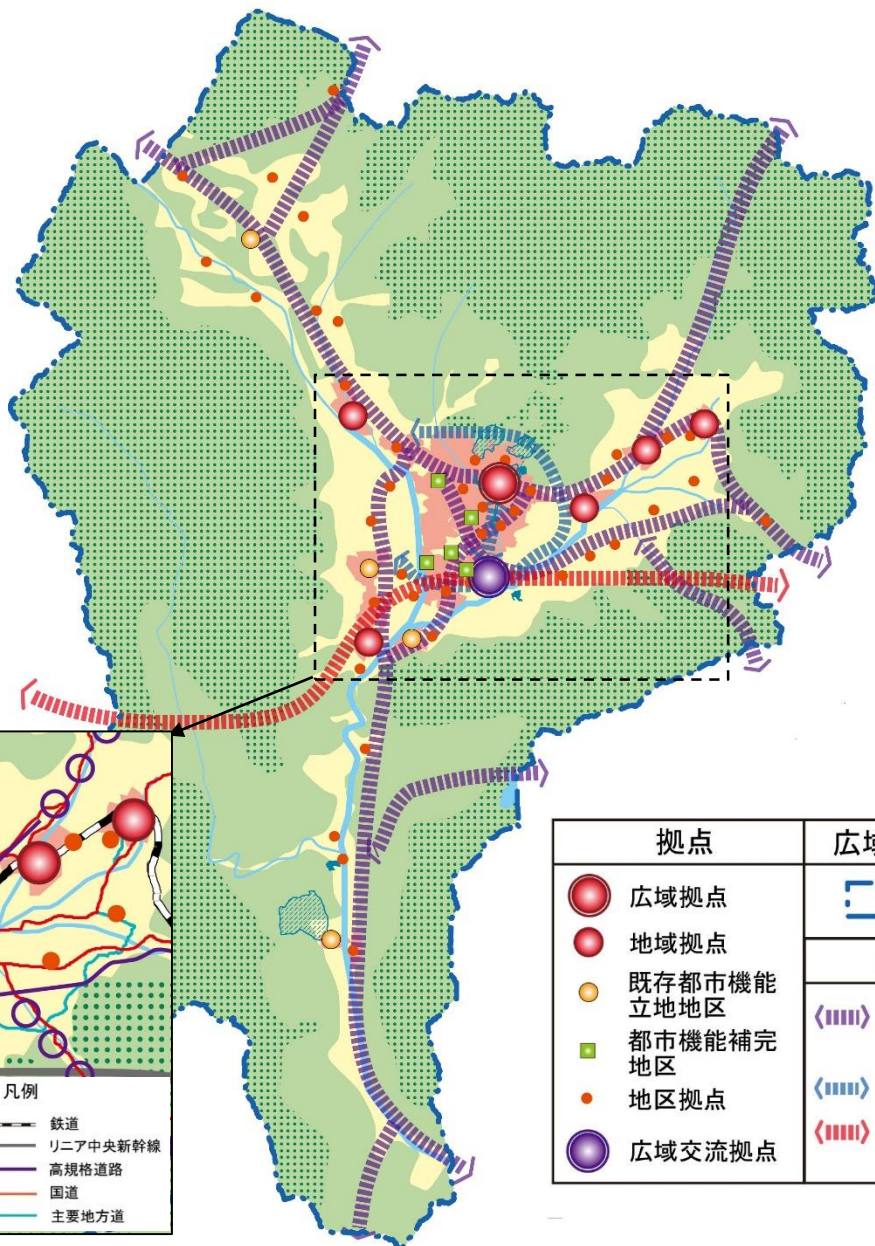
【土地利用断面(桂川河岸段丘)】



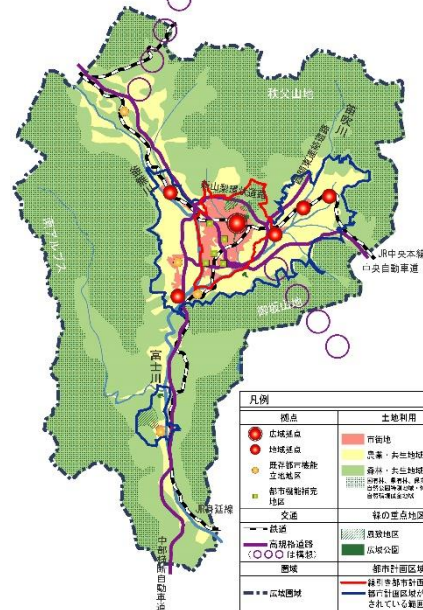
3. 目指すべき広域圏域都市構造、主要な都市機能の配置

目指すべき広域圏域都市構造

・中西部・南部
広域圏域



(現行MP)



凡例	
● 拠点	土地利用
● 広域拠点	市街地
● 地域拠点	農業・共生地域
● 既存都市機能立地地区	森林・共生地域
● 都市機能補完地区	国有林、県有林、保安林、自然公園特別地域・特別保護地区、自然環境保全地域
● 地区拠点	その他、広域的な機能を有する地区
● 都市機能補完地区	風致地区
● 地区拠点	広域公園
● 広域交流拠点	
— 鉄道	
— リニア中央新幹線	
— 高規格道路	
— 国道	
— 主要地方道	
— 圏域	
— 広域圏域	

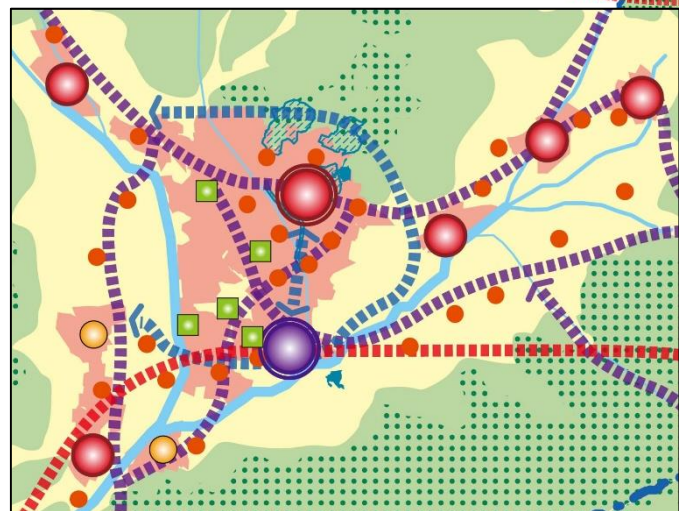
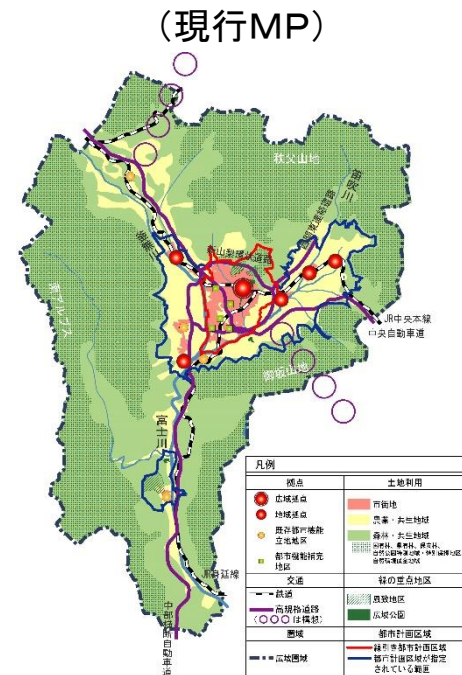
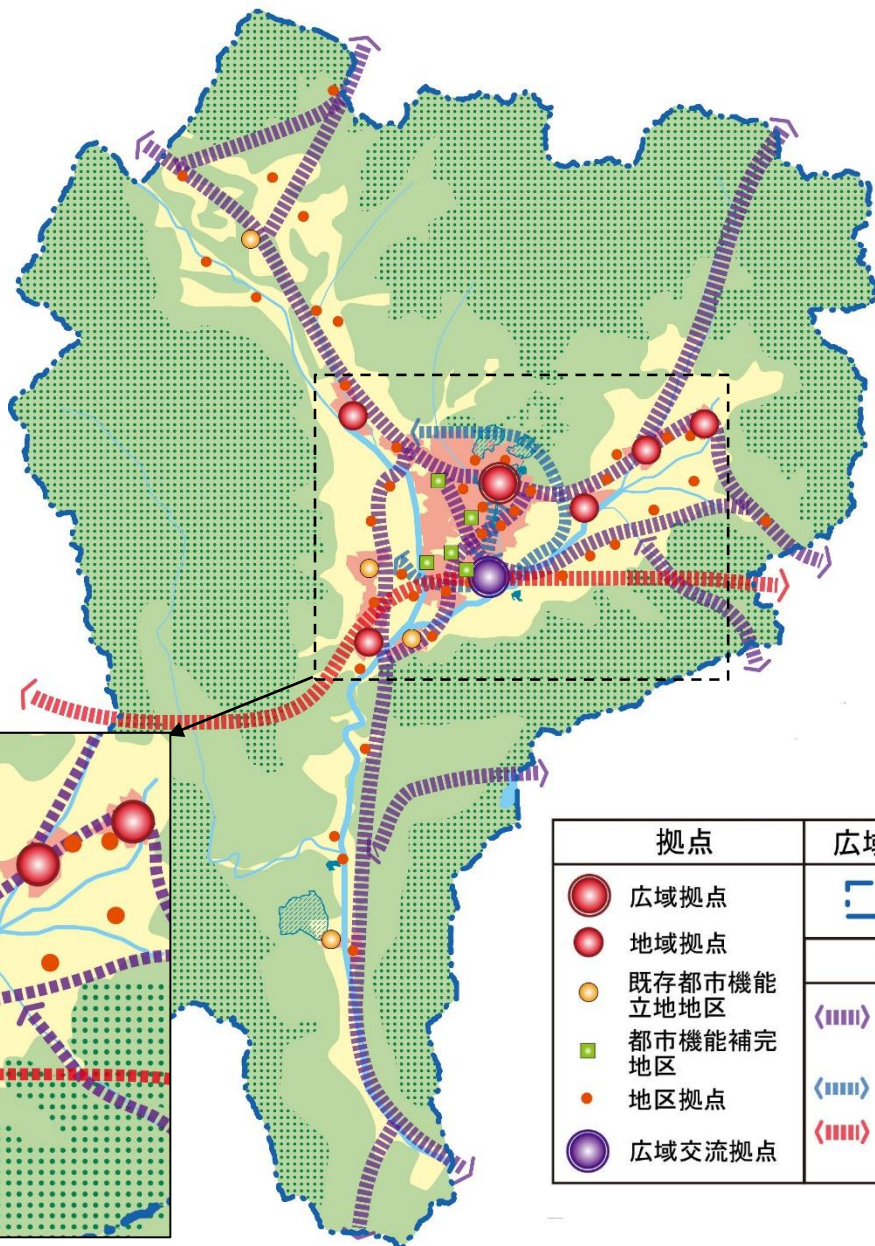


凡例	
— 鉄道	
— リニア中央新幹線	
— 高規格道路	
— 国道	
— 主要地方道	

拠点	広域圏域	土地利用
● 広域拠点	— 軸	市街地
● 地域拠点	— 軸	農業・共生地域
● 既存都市機能立地地区	《 》 圏域間・圏外	森林・共生地域
● 都市機能補完地区	《 》 圏域内	国有林、県有林、保安林、自然公園特別地域・特別保護地区、自然環境保全地域
● 地区拠点	《 》 リニア	その他、広域的な機能を有する地区
● 広域交流拠点		風致地区
		広域公園

目指すべき広域圏域都市構造

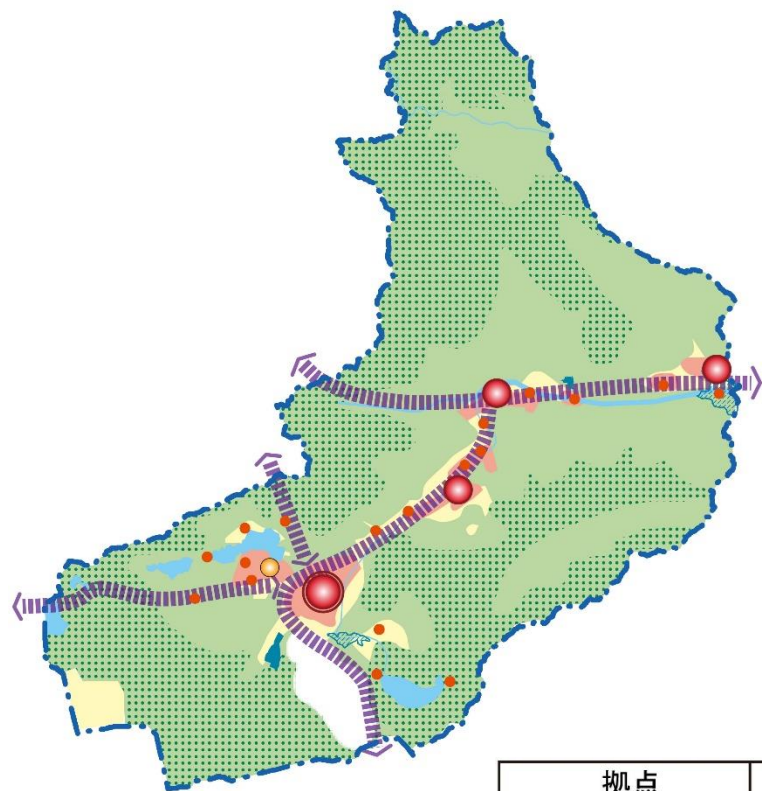
・中西部・南部
広域圏域



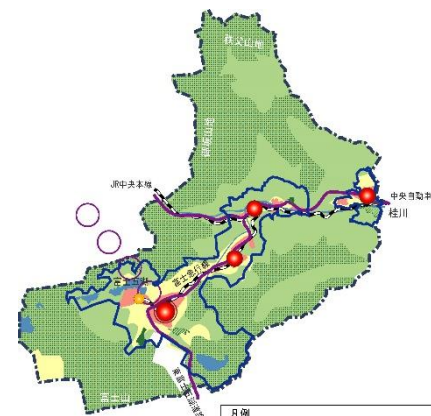
拠点	広域圏域	土地利用
● 広域拠点	軸	市街地
● 地域拠点	軸	農業・共生地域
● 既存都市機能立地地区	《 》 圏域間・圏外	森林・共生地域
● 都市機能補完地区	《 》 圏域内	国有林、県有林、保安林、自然公園特別地域・特別保護地区、自然環境保全地域
● 地区拠点	《 》 リニア	その他、広域的な機能を有する地区
● 広域交流拠点		風致地区
		広域公園

目指すべき広域圏域都市構造

・富士・東部広域圏域



(現行MP)



凡例	
拠点	土地利用
● 広域拠点	市街地
● 地域拠点	農業・共生地域
● 既存都市機能立地地区	森林・共生地域
● 立地地区	国有林、県有林、保安林、自然公園特別地域・特別保護地区、自然環境保全地域
交通	
— 幹線	緑地地区
— 高規格道路	風致地区
○ ○ ○ (保線)	広域公園
■ 圏域	都市計画区域
— 広域圏域	都市計画区域が指定されていない区域

拠点	広域圏域	土地利用
● 広域拠点	軸 圏域間・ 県外 圏域内 リニア	市街地
● 地域拠点		農業・共生地域
● 既存都市機能立地地区		森林・共生地域
■ 都市機能補完地区		国有林、県有林、保安林、 自然公園特別地域・特別保護地区、 自然環境保全地域
● 地区拠点		その他、広域的な機能を有する地区
● 広域交流拠点		風致地区 広域公園